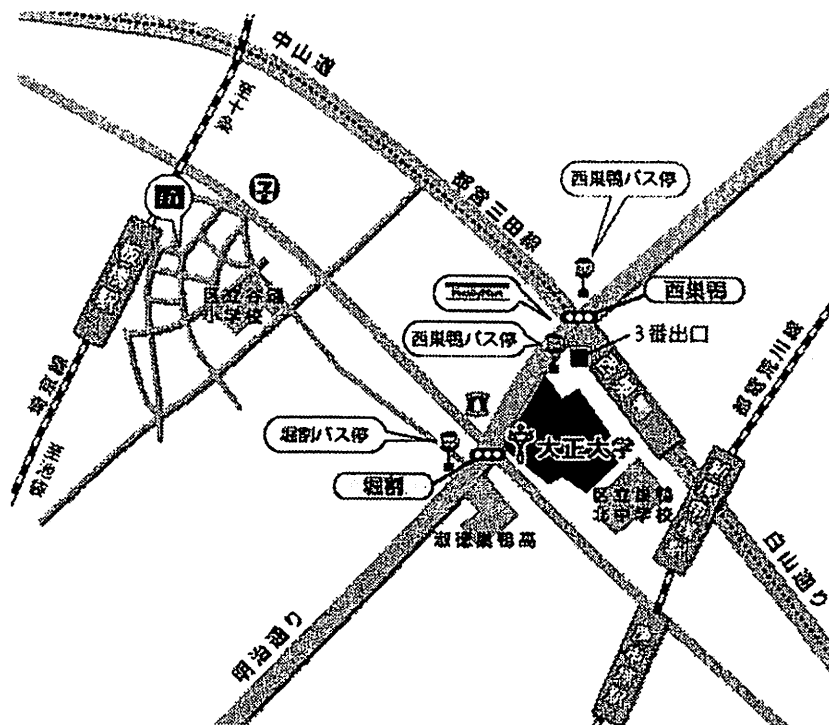


日本社会病理学会
第27回 大会
プログラム・報告要旨集

開催校： 大正大学

開催期日： 2011 年 10 月 1 日（土）・2 日（日）

【大正大学交通案内】



■電車をご利用の場合

- ・都営地下鉄三田線……西巢鴨駅下車 徒歩 2 分
- ・JR 埼京線…板橋駅東口下車 徒歩 10 分
- ・都電荒川線……新庚申塚駅又は庚申塚駅下車 徒歩 7 分

■バスをご利用の場合

- ・池袋駅東口から都バス……堀割バス停下車 徒歩 2 分
- 6 番乗り場 西新井駅前行き、北車庫前行き、新田一丁目行き
- 7 番乗り場 浅草雷門行き（王子駅前経由）
- 11 番乗り場 浅草寿町行き（巣鴨駅前経由）
- 12 番乗り場 とげぬき地蔵（巣鴨車庫前）行き

■東京駅から（約30分）

東京（山手線）→巣鴨（都営三田線乗換）→西巣鴨

■羽田空港から（約 60 分）

- ・東京モノレール
羽田空港→浜松町（山手線乗換）→巣鴨（都営三田線乗換）→西巣鴨
- ・京浜急行（都営浅草線直通「エアポート快特」）
羽田空港→三田（都営三田線乗換）→西巣鴨

- ★ 第1日の会場は、正門に入って右手の建物（1号館）の2階です。
第2日の会場は、正門に入って左手の建物（2号館）の8階です。

日本社会病理学会 第27回大会プログラム

開催校 大正大学
会 期 10月1日(土)～10月2日(日)
会 場 大正大学(巣鴨校舎)
理事会 10月1日(土) 10:30～11:30
総 会 10月1日(土) 12:30～13:20
懇親会 10月1日(土) 17:15～19:15
参加費 一般 5,000円 大学院生 3,000円
* 学部学生 シンポジウム参加費 100円
テーマセッション参加費 100円
懇親会費 一般 5,000円 大学院生 3,000円

大 会 日 程

第1日 10月1日(土)

10:30～11:30 理事会(1号館2階 122教室)
12:00 受付開始(1号館2階)
12:30～13:20 総会(1号館2階 大会議室)
13:30～13:40 開会式(1号館2階 大会議室)
13:40～17:00 シンポジウム(1号館2階 大会議室)
17:15～19:15 懇親会(2号館2階 ラウンジ)

第2日 10月2日(日)

9:00 受付開始(2号館8階)
9:30～11:30 自由報告部会Ⅰ・Ⅱ(2号館8階 281教室・282教室)
11:30～13:00 昼休み
13:00～14:00 自由報告部会Ⅲ・Ⅳ(2号館8階 281教室・282教室)
14:00～16:30 テーマセッションⅠ・Ⅱ
(2号館8階 281教室・282教室)
16:30～16:40 閉会式(2号館8階 281教室)

休憩室 10月1日…1号館2階 会議室2
10月2日…2号館8階 283教室

開催校連絡先 〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1
大正大学人間学部人間科学研究室
電話 大学代表 03-3918-7311 守衛室 03-3918-7315(第2日緊急連絡先)

*自由報告部会報告者へのお願いを4ページに記しました。報告される方は必ずご確認ください。

第1日 10月1日(土)

- I 総会 12:30～13:20 (1号館2階 大会議室)
- II 開会式 13:30～13:40 (1号館2階 大会議室)
- III シンポジウム 13:40～17:00 (1号館2階 大会議室)
- テーマ 「社会的分断のメカニズムを問う
—分断の利害対立を隠蔽する構造」
- 司会 進藤雄三 大阪市立大学
1. 「格差社会日本」論の古さと新しさ—労働研究における「格差」論
野村正實 東北大学
2. 危険な労働に誰が就くのか—社会的分断の一側面
麦倉 哲 岩手大学
3. 企業組織における統合とコンフリクト—雇用形態多様化の展開をめぐって
田島博実 雇用職業研究センター
- 討論者 鍋山祥子 山口大学
妻木進吾 目白大学
- IV 懇親会 17:15～19:15 (2号館2階 ラウンジ)

第2日 10月2日(日)

- I 自由報告部会 9:30～11:30
自由報告部会 I (2号館8階 281教室)
- 司会 山本 努 県立広島大学
1. 支援者間の有機的連携に向けて
—体験就労事業からみるホームレスの人々に対する支援の現状と課題 PC
佐々木洋子 大阪市立大学大学院
2. 新たに形成されたアンダークラスと社会参加
—稼働能力のある要保護層について
大倉祐二 大阪市立大学
3. 「生きづらさ」に向き合うホームレス支援 PC
堤圭史郎 福岡県立大学
4. 親密性と暴力—メカニズムと対策に関する一考察 PC
石川洋明 名古屋市立大学
- 自由報告部会 II (2号館8階 282教室)
- 司会 高橋良彰 大正大学
1. 社会学による薬物乱用防止教育のための試論 PC
本田宏治 日本学術振興会
2. ひとりぼっち回避規範が仲間はずれへの対処行動に及ぼす影響
—中学生時代の仲間はずれ経験に着目して PC
大重佳遥 鳴門教育大学大学院
木村直子 鳴門教育大学大学院

3. 小学校への移行期における学校適応度を高める要因とその支援について

—レジリエンスという概念に着目して PC

佐藤智香 上板町立松島小学校

木村直子 鳴門教育大学大学院

4. 1歳半児の遊びの内容と養育者との相互交渉に関する一考察

—幼児健康診査における自由遊び場面の分析から PC

木村直子 鳴門教育大学大学院

《昼休み 11:30～13:00》

II 自由報告部会

13:00～14:00

自由報告部会III

(2号館8階 281教室)

司会 松下武志 日本大学

1. 女性の飲酒観の変容—女性読者投稿欄の分析を通じて PC

小野田美都江 東京大学大学院

2. メンタルヘルスと自殺念慮・自殺企図—大阪市民調査より PC

高梨 薫 神戸学院大学

清水新二 奈良女子大学

自由報告部会IV

(2号館8階 282教室)

司会 高原正興 京都府立大学

1. ソーシャル・キャピタルが地域社会にもたらす犯罪予防効果についての検討 PC

竹中祐二 京都府立大学

2. 非行予防の実践—ショウのコミュニティ・オーガニゼーション OHP

玉井真理子 関西大学

III テーマセッション

14:00～16:30

テーマセッションI

(2号館8階 281教室)

テーマ 「ソーシャル・インクルージョン/イクスクルージョンの現在」

司会 井出裕久 大正大学

1. EUにおける社会的包摂政策の現在—「リスボン戦略」から「欧州2020へ」

中村健吾 大阪市立大学

2. プロセスとしての社会的排除—ワーキングプアの経歴不安定化の分析

川野英二 大阪市立大学

3. 「障害者権利条約」の意味—特別支援教育とインクルーシブ教育

堀 智晴 常磐会学園大学

テーマセッションII

(2号館8階 282教室)

テーマ 「親密性を問う—虐待論の現在」

司会 畠中宗一 大阪市立大学

1. ファミリー・バイオレンス—適応失敗的暴力か規範同調的暴力か

井上真理子 京都女子大学

2. 日本の児童虐待問題の変遷

上野加代子 徳島大学

3. 男性と親密な関係性—脱暴力への臨床をもとにして

中村 正 立命館大学

IV 閉会式

16:30～16:40

自由報告部会報告者へのお願い

1. 「日本社会病理学会第27回大会 自由報告申込募集」で研究委員会からご案内のように、報告の際は下記の点にご注意ください。

(1) 割り当て時間

一人当たりの割り当て時間は、質疑応答を含め、25分です。発表は20分以内にまとめてください。

1 鈴 15分 → 2 鈴 20分 → 3 鈴 25分

(2) 大会当日のレジュメ等について

当日に配付するレジュメ・資料は、各自ご用意ください。学会事務局、大会校ともコピーはお受けできません。

2. 報告者は、報告される部会開始10分まえに会場の教室にお集まりください。司会者・報告者による簡単な打ち合わせを行ないます。

3. 報告申し込みの際に機器利用の希望があった報告は、報告題目の末尾にPC（パソコンとプロジェクター希望）、OHPのように利用機器を付記しました。機器を利用される方はとくに次の点にご留意ください。

(1) 開催校では報告者の希望に添って、最大限の準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。また、万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して参加者に配布できる印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考え下さい。

(2) 機器を使用する報告者は、報告される部会開始20分前に各教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。

(3) 開催校では、プロジェクターに接続済みのノートパソコン（いずれも Windows 7、MS-Office2010 搭載）を、機器利用希望者がいる部会の教室に用意しております。データを CD-Rom あるいはフラッシュ・メモリ (USB) に記録してお持ちいただければ、当該ソフト上での使用が可能です。

ご不明な点は、開催校（井出裕久 h_hide@mail.tais.ac.jp）まで電子メールでお問い合わせ下さい。

第1日 10月1日(土)

シンポジウム

社会的分断のメカニズムを問う

—分断の利害対立を隠蔽する構造

13:40～17:00 1号館2階 大会議室

司会

進藤雄三 大阪市立大学

報告者

「格差社会日本」論の古さと新しさ—労働研究における「格差」論

野村正實 東北大学

危険な労働に誰が就くのか—社会的分断の一側面

麦倉 哲 岩手大学

企業組織における統合とコンフリクト—雇用形態多様化の展開をめぐって

田島博実 雇用職業研究センター

討論者

鍋山祥子 山口大学

妻木進吾 目白大学

第2日 10月2日（日）

自由報告部会 I

9:30～11:30 2号館8階 281教室

司会：山本 努 県立広島大学

1 支援者間の有機的連携に向けて

—体験就労事業からみるホームレスの人々に対する支援の現状と課題

佐々木洋子 大阪市立大学大学院

2 新たに形成されたアンダークラスと社会参加

—稼働能力のある要保護層について

大倉祐二 大阪市立大学

3 「生きづらさ」に向き合うホームレス支援

堤圭史郎 福岡県立大学

4 親密性と暴力—メカニズムと対策に関する一考察

石川洋明 名古屋市立大学

第2日 10月2日（日）

自由報告部会Ⅱ

9:30～11:30 2号館8階 282教室

司会：高橋良彰 大正大学

1 社会学による薬物乱用防止教育のための試論

本田宏治 日本学術振興会

2 ひとりぼっち回避規範が仲間はずれへの対処行動に及ぼす影響

—中学生時代の仲間はずれ経験に着目して

大重佳遥・木村直子 鳴門教育大学大学院

3 小学校への移行期における学校適応度を高める要因とその支援について

—レジリエンスという概念に着目して

佐藤智香 上板町立松島小学校・木村直子 鳴門教育大学大学院

4 1歳半児の遊びの内容と養育者との相互交渉に関する一考察

—幼児健康診査における自由遊び場面の分析から

木村直子 鳴門教育大学大学院

第2日 10月2日（日）

自由報告部会Ⅲ

13:00～14:00 2号館8階 281教室

司会：松下武志 日本大学

- 1 女性の飲酒観の変容—女性読者投稿欄の分析を通じて

小野田美都江 東京大学大学院

- 2 メンタルヘルスと自殺念慮・自殺企図—大阪市民調査より

高梨薫 神戸学院大学・清水新二 奈良女子大学

第2日 10月2日（日）

自由報告部会Ⅳ

13:00～14:00 2号館8階 282教室

司会：高原正興 京都府立大学

- 1 ソーシャル・キャピタルが地域社会にもたらす犯罪予防効果についての検討

竹中祐二 京都府立大学

- 2 非行予防の実践—ショウのコミュニティ・オーガニゼーション

玉井真理子 関西大学

第2日 10月2日（日）

テーマセッションⅠ

【ソーシャル・インクルージョン／イクスクルージョンの現在】

14:00～16:00 2号館8階 281教室

司会

井出裕久 大正大学

報告者

EUにおける社会的包摂政策の現在—「リスボン戦略」から「欧州2020へ」

中村健吾 大阪市立大学

プロセスとしての社会的排除—ワーキングプアの経歴不安定化の分析

川野英二 大阪市立大学

「障害者権利条約」の意味—特別支援教育とインクルーシブ教育

堀 智晴 常磐会学園大学

第2日 10月2日（日）

テーマセッションⅡ

【親密性を問う－虐待論の現在】

14:00～16:00 2号館8階 282教室

司会

畠中宗一 大阪市立大学

報告者

ファミリー・バイオレンス－適応失敗的暴力か規範同調的暴力か

井上真理子 京都女子大学

日本の児童虐待問題の変遷

上野加代子 徳島大学

男性と親密な関係性－脱暴力への臨床をもとにして

中村 正 立命館大学